

単元		年組番
五年「敬語」		
氏名		

「敬語」とは

- (例) (1) わたしの名前は、田中です。
 (2) 山本先生が、いらっしゃった。
 (3) 大切なお客様を、お見送りする。

(1)から(3)の——部のように、わたしたちは、聞き手や会話の中に出てくる人などに対して敬意を表すために、必要に応じて丁寧な言葉を使います、これを敬語といいます。

① ていねい語

あまり親しくない人や大勢の人に対して話したり書いたりするときに使います。相手（聞き手や読み手む）に対する敬意を表します。

「です」「ます」「ございます」などのことばを使います。

② 尊敬語

相手や話題になっている人を敬う気持ちを表すときに使います。

- ① 「いらっしゃる」「おっしゃる」などの特別な言葉を使った言い方
- ② 「おはなしになる」などのような「お(ご)・・になる」という言い方
- ③ 「・・れる(られる)」という言い方
- ④ 「ご卒業」などのように物事を表す言葉に「お」や「ご」を付けた言い方

③ けんじょう語

自分や身内の動作をけんじんして言うことよって、その動作を受け取る人への敬意を表すときに使います。

- ① 「うかがう」「いただく」など、特別な言葉を使った言い方。
- ② 「お見送りする」などのような「お(ご)・・する」という言い方

相手の動作をていねいな言葉つかいにする「尊敬語」です。自分や身内の動作をけんじんして言う「けんじょう語」です。



「尊敬語」と「けんじょう語」のちがいは、だれの動作を言いかえるのかという点です。

チャレンジシート② きほん

学習日 年 月 日

五年「敬語」	単元	氏名	年組番	8問

○ 次の文には、敬語が使われています。敬語に「ていねい語」「尊敬語」「けんじょう語」を区別して、——線を引きましょう。また、「ていねい語」「尊敬語」「けんじょう語」を区別して、——線で結びましょう。

(1) 手紙を、つくえの上に置いておきます。

(2) 明日、事務所じむしょにうかがいます。

(3) 紅茶さとうに砂糖をお入れになりますか。

(4) 田中さんがいらっしゃった。

(5) 合格ごうかくおめでとうございます。

(6) 先生をお見送りしましょう。

(7) どうぞ、召し上がってください。

(8) 山田さんに、菓子かしをいただきました。

けんじょう語

尊敬語

ていねい語

単元	年組番	8問
五年「敬語」	氏名	

1 例を参考にして、適切な言葉を（ ）に書きましょう。

(例) どうぞ、自由に（ ）ごらんになっ【見る】
 てください。

【言う】

(1) あなたが（ ）ことはよくわかります。

【食べる】

(2) 私も遠慮なく（ ）ます。

【きく】

(4) そんなことまで私に（ ）のですか。

【きく】

(5) あなたのお名前は（ ）たことがあります。

【いく】

(6) 集合場所に電車で（ ）ますか。

【いく】

(7) 私がお宅に（ ）ましよう。

2 次の尊敬語やけんじょう語を使って、主語・述語のある文を作りましょう。

(1) 「おっしゃる」(尊敬語)

(2) 「いただく」(けんじょう語)